



2016~2017

国際ロータリー第 2730 地区

週報 佐土原ロータリークラブ

ROTARY SERVING HUMANITY

RI テーマ
人類に奉仕する
ロータリー

会長：岩切正司 副会長：郡司武俊 RI2730 地区ガバナー 大重 勝弘
 幹事：田邊揮一郎 会計：新原輝彦 中部分区ガバナー補佐 藤堂 孝一
 事務局：吉野由里子 会報委員：中武幹雄 RI 会長テーマ人類に奉仕するロータリー
 例会会場：ワールドコンベンションセンターサミット 2730 地区テーマ ロータリーを楽しもう！
 例会会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL：0985-21-1155・FAX 0985-21-
 事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

第 1405 回例会 平成 28 年 8 月 3 日(水)

<<本日のプログラム>>

1. 点 鐘
月初め 国歌斉唱
2. ロータリーソング
♪「奉仕の理想」(ソングリーダー 林 厚雄君)
3. 「4つのテスト」唱和 (郡司 武俊君)
4. 会長の時間 5. 幹事報告
6. 出席報告 (靱田 直樹君)
7. ハッピーBOX披露 (荒武 義博君)
8. 委員会報告 (各委員会より)
9. メジャードナーバッジ授与式
「大重勝弘ガバナーより岩切正司会長へ」
10. ガバナーアドレス (大重勝弘ガバナー)
11. 次週例会案内～10日＝お盆休会
17日＝8月度フォーラム・8月度セレモニー
* 例会場「5階 ウィーナス」
12. 点 鐘

第 1404 回例会記録 平成 28 年 7 月 27 日 (水)

■会長の時間 会長●岩切 正司君



皆さんこんにちは、今日は提案型ビジネスについてお話します。うちのお寺の写真を見てください、これは昭和 20 年に本堂を復元する時に設計会社がプランニングの一環として提示してくれたものです。提案型のビジネスで思い浮かんだのがこの時のやり取りでした。お客様のニーズを発掘し、それを満たすための提案ができる人材こそが今後の提案型ビジネスに必要です。お客様が求めているのは、サービスや製品そのものではなく、それによってもたらされる課題解決ですから見えづらい顧客ニーズを発掘し、顧客の利益につながる提案ができる人材こそが必要であり、また職業奉仕の理念に合うサービス売り手良し、買い手良し、世間良し」の提供が出来ると思います。これらの意味を理解していないと、提案の中心が自社の扱うサービスや商品になり、単なる価格競争に陥る原因にもなります。皆様方のお

客様は自らの課題解決やニーズを満たしたいのです。提案型ビジネスをもし別の言葉で置き換えるとしたら、それは「ソリューション」即ち「問題解決(型営業)」となります。つまり、「提案型営業」の「提案」とは何を提案することなのかと言えば「お客様の問題を解決するための提案をすること」なのです。来週はガバナー公式訪問です。大重勝弘ガバナーよりロータリーの「職業奉仕」をたっぷりと言って頂ける事と思いますので、どうぞ 100% 出席でお迎えをお願い致します。

■幹事報告

幹事●田邊揮一郎君



<文書報告>

- * 鹿児島中央 RC 創立 40 周年記念式典・祝賀会開催のご案内
- * 第 3 期 R L I - パート III について緊

急の案内

* 佐土原 RC 8 月度例会案内

8 月 3 日＝ガバナー公式訪問 夜間打ち上げ懇親会

8 月 10 日＝お盆特別休会

8 月 17 日＝8 月度フォーラム・セレモニー

8 月 24 日＝米山奨学金授与・帰国報告

8 月 31 日＝会員卓話「太田 忍君」「原田 宗忠君」

<報告事項>

* 公式訪問報告書の差し替え分 1 部を皆様に配布させて頂いておりますのでお願いします。

* 理事会議案が 2 件 (会計予算組み・出席免除について) 御座いますので本日終了後に臨時理事・役員会を開きます。

■出席報告

◎靱田 直樹君

会員数 24 (1) 出席数 19 名 出席率 82.6%

免除会員 1 名 欠席数 5 名 メイク 0 名



■ ショート SP

シェラトンの方が色々リニューアル進んでおります。本日もお配りしたシャイン 7・8 月号にも掲載してございま

すが和食の「実家 くろき」が本日オープンです。

■ハッピーBOX披露

◎小牧 義隆君

<ニコニコへ>



◎武政 美鈴さん～7月誕生お祝い有り難う御座いました。笑顔で歳を重ねたいものです。皆様に支えて頂きありがとうございます。

■ショートSP

「生目古墳群を世界遺産登録に」という動きの中で先日例会をお休みにして岐阜県の「白川郷」へ視察に行ってきました。どこかで見た風景だな！と直ぐに思ったのですが、西米良の風景とそっくりでした。

今回の視察も十分に生かして参りたいと思います。

■委員会報告

クラブ管理運営委員長◎梶田 與之助君



23日土曜日に開催しました懇親会の報告をさせていただきます。当日は14名の参加でした。地元の愛宕神社夏祭り初日という事で後半には皆で歩いて移動して伝統の

神楽の舞を見物しました。毎年お越しくださる戸敷市長ともお会いして写真撮影も行いました。秋祭りもありますから又企画したいと思います。懇親会も今後はメイク扱いにしたら如何かと思ひます。



*7/23(土)クラブ管理運営委員会主催懇親会集合写真。

■ 会 員 卓 話

◎藤堂孝一君



皆さんこんにちは、会員卓話ということですが本日は、深川純一PGの職業奉仕の話をしていただきます。職業奉仕

を理解するうえで知っておかなければならないことがあります。それは職業奉仕がどのようにして誕生したのかです。ロータリーは1905年2月ポール・ハリスを含む4人の会員で誕生しました。当初は心を開いて何でも相談できる友人を得るためのロータリー活

動でした。そして仲良くなったついでに、それを取りに利用し、互惠取引をすればお互いの事業が発展するという発想が生まれ、初期ロータリーの目的は会員相互の互惠取引、相互扶助と親睦を目的としたものでした。当時は人を騙して商売するのが当たり前で、無法がまかり通る時代でした。そんな時代にロータリーに入会すれば、信用のある商人から原価に近い値で仕入れができ、お金儲けができる。親睦でつちかわれた信用と信頼ができる仲間であるから安心して取引ができる。当然誰しもが入会しようと致します。このため初期ロータリークラブは爆発的にクラブ会員やクラブ数を増やしていきました。しかしそのようにして誕生したロータリーは次第に内外から批判を受けます。

新聞紙上においてもロータリアンだけが儲けていいのか、これは経済の秩序を乱すとの批判を受けます。又、内からはドナルド・カーターが「もしロータリーを永続的に発展させていくなれば、自分たちの利益だけを追求するのではなく、世間の人たちの共感を得なければならぬ」と説きました。ここにおいてロータリーは相互扶助と親睦を目的とした時代から大きく方向を転換し、社会奉仕や国際奉仕を中心とした時代へと変わり、物質的相互扶助は徐々に精神的なものに変わっていきました。しかし、初期ロータリーに入会した会員のほとんどは、親睦と互惠取引による事業の発展を期待して入会したのですから、もし物質的な相互扶助を廃止したならばロータリーに入会したメリットがなくなり、会員減少にもつながります。そこで相互扶助となるべきとなるべき理論としてシェルドンによって唱えられた「職業奉仕」です。以下次回へ

♪本日のソングリーダー

☆7/23(土)懇親会の様子



◎太田 忍君



◎梶田 與之助君と

◎武政 勝巳君

四つのテスト

言行はこれに照らしてから。

- 1、真実かどうか
- 2、皆に公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、皆のためになるか どうか

メモ